

### 7月22日(土) 菊池市管工事組合のボランティア清掃作業

菊池市管工事組合(土本勝洋組合長)のメンバー30人が、菊池観光物産館を中心に温泉街周辺でボランティアによる清掃作業を行いました。

同組合は市内の水道施設工事業者で組織されており、合併を機に旧泗水町や旧七城町の事業者がこのほど加盟し、11社から15社に増えました。これまでも、6月の全国水道週間に合わせて、水源地の草刈り作業などを行ってきており、今回は、加盟事業者が増えて初めてのボランティア作業となりました。

「会社から清掃作業をやらうと言われて、就業時間中に行ったのでは本来のボランティアとはならない。この後仕事がある人もいるが、その前に作業を行うことに意味がある」と語る土本組合長。

次回は、年内に泗水総合支所周辺で同様の作業が行われる予定です。

小雨の中作業を続ける管工事組合員たち



### 霊芝(サルノコシカケ)栽培

宮中さん他7人が3年前から旭志地区で栽培している霊芝が、今年も見事に育ちました。

霊芝は、サルノコシカケ科のキノコで、中国では古くから不老長寿の妙薬として知られています。現在では「ガン、心臓病、高血圧、リウマチ、糖尿病」などに効くと言われていています。

今年は例年よりも1カ月ほど育つのが遅いものの、例年どおりの収穫が見込まれています。

また、霊芝は、昔の日本では食用にせず、見た目にも美しいことから、縁起の良いキノコとして観賞用にされていました。1970年代に中国と日本で人工栽培に成功したことから入手が容易になり、現在健康食品としても広く使用されるようになりました。

ハウスの中で栽培されている霊芝(サルノコシカケ)



### 7月23日(日)一日大工奉仕作業

菊池市建築組合(山本勝義組合長)の組合員約60人が、旧菊池市内の小・中学校と保育園の修繕作業をボランティアで各学校に分かれて行いました。

そのひとつ、菊之池小学校では8人が作業にあたり、日ごろ使っている大工道具を持ち、校内の床の補修や縄跳びの際に使うジャンピングボード、掲示板などを慣れた手つきで次々と作り直しました。

学校や保育園の職員からは、たいへん喜ばれ、夏休みを終えた子どもたちにも「奉仕の気持ち」が伝えられました。

山本組合長は「何らかの形で地域への恩返しになればと思います」と話されました。

この活動は、毎年この時期に行われています。

猛暑の中、ボランティアで作業をする組合員



### 7月24日(月) 故工藤博子さんの遺族がピアノ寄贈

昨年11月に亡くなった工藤博子さん(㊦ 間所)の遺族が「お世話になった恩返しに」と、七城中学校、菊池南中学校、隈府小学校、聖母幼稚園にピアノ1台づつを寄贈し、その目録が福村市長に贈られました。

市役所を訪れたのは、博子さんの夫の工藤政治さん、長男の土本勝洋さん、二女の工藤たみさんの3人で、七城町で建築資材販売に携わっていた博子さんの「商売を通じてお世話になった地域への感謝を忘れないで」との意思を尊重して、遺産の一部を使い贈られました。

二女のたみさんがピアノ教室をしていることから「音楽の普及になれば」とピアノが贈られたもので、3人は「ピアノに触れて心豊かな子どもになってほしいです」と話されました。

寄贈、ありがとうございました。

福村市長(右)にピアノ4台の目録を手渡す、土本勝洋さん(左から2番目)と工藤政治さん(一番左)、工藤たみさん(左から3番目)



### きくち夏まつり 8月5日(土)

きくち夏まつりが市民広場特設ステージをメイン会場にあり、たくさん家族連れなどで賑わいました。

昨年まで旧市町村単位で行われていた夏まつりが一本化されたもので、白龍・子白龍みこしの練り歩きや、よさこい演舞、花火大会がありました。

頭部が新しくなり初披露となった巨大白龍2頭と、小学生たちが担ぐ子白龍1頭と一緒に商店街を練り歩き、市民広場の特設ステージ前では、約150人の有志が担ぐ白龍の迫力ある演出が披露されました。

フィナーレを飾った花火大会では、仕掛け花火と約3,000発の打ち上げ花火が、菊池の夜空を鮮やかに彩り、観客からは大きな歓声が上がっていました。

また、花火大会を盛り上げようと、松本恵資さん(㊦ 遊蛇口)と片山敬三さん(㊦ 高野瀬)が約600人からカンパ金を集めて祭実行委員会に寄付し、花火の費用に上積みされました。ご寄付、ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



子白龍を担ぎ、市民広場前を練り歩く小学生たち



よさこい演舞を披露する隈府小学校の子どもたち



音と光が観客の目の前で広がる迫力満点の花火大会

### 7月6日(木) 菊川市老連会長が県老連会長に就任

菊池市老人クラブ連合会会長の菊川忠一さん(㊦ 片角)が、熊本県老人クラブ連合会の臨時総会で、新会長として選出されました。

菊川さんは平成元年度から平成7年度までの7年間、旧菊池市区長連絡協議会会長を、また、平成13年度からは旧菊池市老人クラブ連合会会長を歴任され、合併後は初代の新菊池市老人クラブ連合会会長として現在に至っておられます。

県老連は48の連合会、3000の単位老人クラブ、18万7000人の会員からなる組織で、その代表となった菊川さんは「巨大組織の長としてその重責を改めて感じています。現在、県下では市町村合併により老人クラブも旧市町村間で合併しているところですが、その合併老連の一体化に取り組んでいます。このような問題を早期に解消し、組織の強化、拡大を図るとともに、老人クラブ連合会がより一層地域に根ざした貢献ができますよう努めていきます」と抱負を話されました。

今後の活躍が期待されます。

熊本県老人クラブ連合会の新会長に就任された、菊川忠一さん



### 7月16日(日) 第13回亀嶺旗争奪少年空手道大会

水俣市教育委員会主催の亀嶺旗争奪少年空手道大会が水俣市武道館でありました。

小学生と中学生が県内外から集まり、気迫あふれるすばらしい熱戦が繰り広げられました。

菊池郡市からは烈士館が小学生低学年の部で出場し、団体形で優勝しました。

烈士館では随時生徒を募集しています。七城体育館で練習していますので、興味がある人のお越しをお待ちしています。



小学生低学年の部団体形で優勝した「烈士館」の子どもたち